



国際環境協力分野においてリーダー的役割を担う人のための

「海外派遣研修～フィリピン共和国～」

開発途上地域での環境保全活動を実体験し、国際環境協力に必要な知識・技術を高めよう

主催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部 協力：公益財団法人 国際環境技術移転センター

(独) 環境再生保全機構では、環境 NGO による国際協力の振興と実践活動を担う人材を育成することを目的として、「海外派遣研修」を実施します。本研修は、民間環境活動団体 (NGO/NPO) のスタッフや参加活動経験者、開発途上地域における環境保全活動への参加に関心がある人を対象として、フィリピン共和国で行う海外研修に参加してもらい、開発途上国の環境問題の現状についての理解を深め、現場で活動する上で必要となる知識やノウハウ、技術を習得することにより、国際環境協力について専門的な人材を育成することを目指します。

テーマ

フィリピンの都市部及びリゾート地における環境問題解決のために、「循環型社会形成」と「環境教育」について学びます。

研修の特徴

①これまでの日本のフィリピンへの取り組みから、現地の環境問題の理解、現場の視察、効果の確認を行います。

— 廃棄物管理、分別、資源リサイクル、環境教育など —

②現地の関係者と協働を行います。

— これまでに投入してきたプロジェクトの効果の検証 —

③これからの国際環境活動についての提案をまとめます。

— 今後の持続可能な活動と参加者自身の活動へのヒントについて —

研修地 フィリピン共和国 (マニラ～マンドゥエ～プエルトプリンセサ)

研修日程 長期研修：平成 26 年 9 月 6 日 (土)～9 月 25 日 (木) の 20 日間
短期研修：平成 26 年 9 月 6 日 (土)～9 月 15 日 (祝・月) の 10 日間

対象 これまでに民間環境活動団体 (NGO/NPO) に携わるなど環境保全活動にある程度の経験を有し、開発途上国での活動に関心を持ち、簡単な日常英語を理解できる 18 歳以上の健康な男女が対象です。

募集 長期研修：6 名
短期研修：4 名

参加費 5 万円 (現地食費等は別途自己負担)

応募 (独) 環境再生保全機構地球環境基金のホームページに掲載しております「募集要項」に研修内容、募集についての詳細が記載されております。必ず募集要項をご一読の上、申込書類 (研修申込書、経歴書、応募調査票) をダウンロードして、下記申込先 (公益財団法人 国際環境技術移転センター) に郵送でご応募ください。
※上記に加え、NGO/NPO からの推薦状が任意で提出可能です。推薦状は選考・評価上の参考資料となります。
<http://www.erca.go.jp/>
※個人に関する情報は、本研修開催の目的以外には使用いたしません。

締切り 平成 26 年 7 月 23 日 (水) 必着

審査 申込書類をもとに本事業の趣旨に照らして審査、決定いたします。

決定 平成 26 年 7 月 28 日 (月) 頃までに応募者へ通知します。

注意事項 事前研修【平成 26 年 8 月 9 日 (土)～10 日 (日)、2 日間】と帰国後報告会【平成 26 年 11 月 15 日 (土)】への参加が必要です。各会場は、東京都内となります (交通費は別途支給いたします)。

お問合せ・郵送申込み先

公益財団法人 国際環境技術移転センター INTERNATIONAL CENTER FOR ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY TRANSFER (ICETT)
〒512-1211 三重県四日市市桜町 3684 番地の 11
TEL: 059 (329) 3500 / FAX: 059 (329) 8115 / E-mail: kise-a@icett.or.jp URL: <http://www.icett.or.jp/>
担当: 喜瀬明子・尾崎裕成・大矢綾子

主催

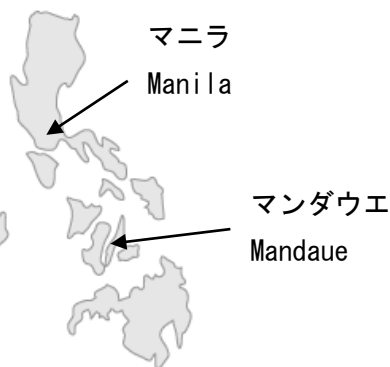
独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部 (担当: 瀬上恭平・本田渉)
〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー 8 階
TEL: 044-520-9505 FAX: 044-520-2190 E-mail: o-kikin@erca.go.jp URL: <http://www.erca.go.jp/jfge/>
※「地球環境基金」は、国内外の民間団体 (NGO・NPO) が行う環境保全活動への資金の助成や人材育成、情報提供等の支援を行っています。

現地派遣研修プログラム



フィリピン共和国

Republic of the Philippines



マニラ

Manila

マンダウエ

Mandaue

プエルト・プリンセサ

Puerto Princesa



日程 プログラム内容

短期コース

日程	プログラム内容
1 9/6 土 午後 夜	羽田発 マニラ着、ホテル移動
2 9/7 日 終日	参加者決起集会
3 9/8 月 午前 午後	環境天然資源省(DENR) 訪問・意見交換 環境管理局(EMB) 訪問・意見交換
4 9/9 火 終日 夜	EMB引率による現場見学 スモーキーマウンテン・大型火力発電所・自動車排出ガス測定局等、フィールド調査 研修総括Ⅰ
5 9/10 水 午前 午後	公益財団法人オイスカ 活動概要説明・意見交換 セブ島への移動
6 9/11 木 終日	セブ州マンダウエ市役所、環境天然資源部署 訪問・意見交換 廃棄物対策・森林保護 フィールド調査
7 9/12 金 終日	マンダウエ バランガイ 訪問 観光産業における廃棄物処理 フィールド調査
8 9/13 土 終日	民間企業廃棄物処分場 フィールド調査
9 9/14 日 午前 午後	セブ発 マニラ戻り 研修成果発表会、意見交換(NGO等同席)
10 9/15 月 午前 午後	短期コース: マニラより帰国 長期コース: 休息、自由時間 研修総括Ⅱ(長期コース)
11 9/16 火 午前 午後	パラワン島への移動 パラワン州プエルトプリンセサ市役所 訪問・意見交換 パラワン州プエルトプリンセサ市、環境天然資源部署 プログラム確認 意見交換
12 9/17 水 終日	プエルトプリンセサ市の取り組み 廃棄物分別と資源化・リサイクル フィールド調査 森林保護 実習
13 9/18 木 終日 夜	環境NGO/NPOや現地NGOネットワークの取り組み オイスカ研修センター フィールド調査 研修総括Ⅲ
14 9/19 金 終日	環境NGO/NPOや現地NGOネットワークの取り組み② 環境プロジェクトの実施状況確認・意見交換
15 9/20 土 終日	プエルトプリンセサの自然環境理解 ホテル業界における廃棄物処理 フィールド調査 地域の生態系 フィールド調査
16 9/21 日 終日	マニラへの移動
17 9/22 月 終日	フィリピンの大学等との意見交換
18 9/23 火 午前 午後	在日の日本政府機関(大使館、JICA等) 訪問 研修総括Ⅳ
19 9/24 水 終日	研修成果発表会
20 9/25 木 早朝	帰国、羽田空港にて解散

長期コース

協力団体・訪問先

フィリピンの環境保全活動に関わる多方面の方々と交流します。

中央・地方行政機関

- ① Department of Environment and Natural Resources (DENR)
- ② 環境天然資源省
Environmental Management Bureau (EMB)
- ③ 環境管理局 (DENR下部組織)
- ④ Mandaue City, Bisaya Province,
City Environment and Natural Resource Office (CENRO)
- ⑤ Puerto Princesa City, Palawan Province,
CENRO

フィリピンにおける環境政策、中長期的環境方針環境モニタリングや排出者に対する規制、啓発セミナーの実施、ごみの分別やマングローブ林の保全等について学びます。

国際NGO

- ⑥ Conservation International
(Staff in Palawan)
国際NGOの現地サイトを見学します。

地元NGO

- ⑦ Palawan NGO Network, Inc.
- ⑧ International Marinelife Alliance (IMA)- Philippines
ごみの分別キャンペーンソング作りなど、地元の住民参加型の環境普及啓発活動の実践結果の確認を行います。

日本NGO

- ⑨ 公益財団法人オイスカ
フィリピン支部・駐在員事務所を訪問し、地域滞在型環境NGOの運営の状況について経験談を聞き、途上国の産業開発と環境保全の推進、また円滑な組織運営の要件を検討します。

住民自治組織

- ⑩ Mandaue、バランガイ、その他
現地組織との意見交流や活動現場への参加を行います。

高等教育機関

- ⑪ フィリピンの大学等
日本の国際機関等との連携実績のあるフィリピンの大学等、高等教育機関の学生及び教員と環境活動・地域参加の分野について意見交換を行います。

※ 1: 毎日のプログラム終了後(夕方もしくは夜)に研修生やスタッフを交えた振り返り・意見交換の時間を設けます。

※ 2: 研修地の政情、受入団体の事情等により行程・内容を変更する場合があります。